

第4学年 国語科 学習指導案

日 時：平成26年9月26日（金）1校時
学校名：猿払村立浜鬼志別小学校
児 童：第4学年 男子1名 女子7名
指導者：高橋 哲雄 教諭

1. 単元名

まとまりやつながりに気をつける 「花を見つける手がかり」「資料をもとに説明しよう」

2. 単元・教材について

本単元は、説明文を読む単元と書く単元の融合単元である。「読むこと」の学習で得た知識を生かして、説明的文章を書くことにつなげていくことをねらいとしている。

教材文「花を見つける手がかり」は、『モンシロチョウのなぞ』の前半部分が教科書向きに再編成されたもので、「もんしろちょうが何を手がかりに花を見つけるのか」という主課題について、問いと実験・観察を繰り返しながら、結論に至る過程を、消去法という文章展開の論理で、簡潔に表した文章である。もんしろちょうが花を見つける手がかりを探る実験・観察を繰り返す中で、それぞれの実験・観察がどんな目的で行われているのか、その結果どうなったのか、そして、そこから何が明らかになったのかというを読み取りながら、段落ごとのまとまりや段落相互の関係、つなぎ言葉や文末表現に着目させていき、正確な読解力と論理的思考力を育てたい。

また、「資料をもとに説明しよう」では、自分が疑問に思ったことを解決するために、資料を集め、事実と意見を区別して説明的表現で書く活動を設定している。「花を見つける手がかり」での「問い—様子の描写—答え」の表現の仕方を参考に、書く活動に主体的に取り組めるように授業展開を工夫したい。

こうした観点から、本単元では「リーフレットづくり」を言語活動とし、リーフレットづくりに必要な「要約する」「段落相互の関係」を教材文から読み取り、自分たちのリーフレットづくりの際に、学んだことを生かしていけるよう、単元構成を工夫していきたい。

説明的文章の学習で育てたい力として、「正確な読解力」「論理的思考力」「情報活用能力」「説明的な表現力」などがある。学習指導要領「C 読むことイ説明的な文章の解釈に関する指導事項」において、「目的に応じて中心とする語や文をとらえるなどして段落相互の関係を押さえることや、事実と意見との関係を考えて読むこと」を示しており、指示語や接続語が文と文の間で果たす役割を理解し、段落同士の意味を関連づけることが重要である。

また、指示語や接続語の他にも、文末表現に注意して読ませることも同様に重要である。そこで、児童がより主体的に「まとまりやつながりに気をつけて」読み取れるように、以下の点に重点をおいて指導を進めていきたい。

【内容の中心をとらえて読む】

中学年の重点指導事項である「要約する」活動においては、何のために要約する必要があるのか、目的意識を感じさせながら工夫をすることが大切である。

【段落相互の関係を考えて読む】

段落相互の関係をとらえるための手立てとして、それぞれの段落の役割を考えさせ、文章構成図を作成させる。実験で分かったことをより分かりやすく読者に伝えるために筆者はどのような工夫をして段落をつなげていっているのかを考えさせたい。

3. 児童の実態

【全体を通して】

明るく、活発な児童が多いが、丁寧さや論理的に考えるなど、課題に対してじっくり取り組むことを苦手としている。「面白い」と感じた活動は積極的に取り組むので、「やってみよう」との意欲を大事にした授業づくりを心掛けたい。

また、抽象的な指示・発問に対して、意欲的になれずにいる児童もいるので、具体的な指示・発問と見通しを持った学習展開を大事にしていきたい。

【国語に関して】

自分の考えを表現する活動を苦手としている子が多く、授業中も発言は多くはない。また、筋道を立てて表現したり、主語のはっきりした文章を書くことを苦手としている。

物語文など心情に迫る読みは、生活経験の差が読みの深さに見られることが多い。また、説明文では、長文の意味理解を苦手としている子もいる。音読は、初見では不十分さはみられるが、繰り返し音読することをいとわない子が多い。言語事項・語彙については、全体として前学年の内容は定着がみられるが、個々の学力差も大きく、「漢字があるから国語が好きじゃない」といった子も少なくない。

4. 単元の目標

- モンシロチョウが何を手掛かりに花を見つけているのかを探る実験の過程を、実験の問題、方法、結果、結論と課題などに注意して読み、問題を解明する際の考え方をとらえたり、文章を要約したりする。
 - 問題や実験の目的を受けて、事実と結論の関係、実験と実験の関係を考えながら文章を読む。
 - 研究の進め方を明確にするために、それぞれの実験の目的と結果、残された課題などを抜き出しながらか読む。
 - 「ようだ」「らしい」「考えられる」などの言葉に注意し、判断の程度を考えながら実験の記述を読む。
 - モンシロチョウが何を手がかりに花を見つけているのかを探る実験の過程を読み、まとめたものを読み合う。
- 調べたことや実験したことをもとに、事柄の順序を考えながら、語と語、文と文の続き方に注意して、説明的文章を書く。

5. 単元の指導計画（20時間扱い）

次	時	主な学習内容	主な評価規準
一次	1	単元を見通した活動と課題を理解する。 手立てD 【言語活動】 「リーフレットをつくろう」 ・リーフレットの紹介をし、学習への見通しと意欲付けを行う。	【関心意欲】 これから行う学習に見通しを持つことができる。
二次	2 3	教材文「花を見つける手がかり」 ・全文通読と教材文に対する関心を高める。 ・問題提起とそれを解明していくための3つの実験を読み取る。	【読む】 教材文を読み、課題文や3つの実験など内容を読み取ることができる。
	4 5 6	教材文「花を見つける手がかり」 ・3つの実験を読み取り、要約しながらまとめる。 □実験1（何を手がかりにしているのか） □実験2（色か、においか、形か） 【本時】 □実験3（色か、形か）	【読む】 3つの実験のねらいや結果、そこから導き出される結論を読み取ることができる。 【書く】 読みとった内容をもとに、要約文をつくらることができる
	7	教材文「花を見つける手がかり」 ・文章全体の単元構成をまとめ、筆者の意見を結論を読み取る。	【読む】 説明文の文章構成をまとめながら、筆者の主張を読み取ることができる。
三次	8 9	「資料をもとに説明しよう」 ・リーフレットの作り方を知る。 ・個々の「テーマ・疑問」を持ち、調べる計画を立てる。	【関心意欲】 自分の書くテーマを決め、学習の見通しを持つことができる。
	10 11 14	「資料をもとに説明しよう」 ・テーマにそって、必要な情報を集め（本・観察・実験など）、「情報カード」にまとめる。	【読む】 必要な資料を探し、大事な事柄を見つけながら読むことができる。 【書く】 資料から読み取った事柄をカードに整理してまとめることができる。
	15 16 19	「資料をもとに説明しよう」 ・作った「情報カード」をもとに、説明的文章を書き、リーフレットをつくる。	【書く】 準備した資料をもとに、大事な事柄を落とさず要約しながら、説明的文章を書くことができる。
	20	「資料をもとに説明しよう」 ・完成したリーフレットを発表・紹介しながら、感想を伝え合う。 手立てF	【関心意欲】 出来上がったリーフレットを発表・交流しながら、感想やよいところなどを伝え合うことができる。

6. 研究仮説に関わって

研究主題 「自ら学び、基礎・基本を身につける子どもの育成」

～わかる、できるを実感させる授業づくりを通して～

仮説 1

学習指導において、効果的な「学び方」を全校的に確立し、発達段階に合わせて各学級、各授業で実践することにより、進んで学ぶ意欲的な子どもになるであろう。

内容 1

- ①全校で取り組む授業規律の確立
- ②発達段階や実態と乖離しない効果的な学級での学習指導
- ③自己解決、集団解決、学び合いの方法、手順の工夫

具体的な手立て

【小規模校の特性を生かし、全員が安心して主体的に参加する授業にするために】

- A.課題設定や発問を、理解しやすい具体的な表現になるよう吟味する。
- B.学習を進めていく上で、必要となる用語・方法などの「学び方」を視覚的に明確にして示す。
- C.個での活動と集団での活動を必要に応じて織り交ぜながら、「学び方」を学ぶ。
～第一歩として、完全正答でなくても心配せずに伝えあえる安心感を育む～

仮説 2

授業作りにおいて、確実に身につけたい基礎的・基本的な学習内容を明確にし、一単位時間または単元構成の指導法を工夫することにより、基礎的・基本的な学習が身につくであろう。

内容 2

- ①見通しを持ち主体的な学びを進めるための学習過程の工夫
- ②基礎的・基本的な内容の明確化
- ③教材・教具・動機付けの工夫

具体的な手立て

【見通しを持って読み取り、「要約する力」が身につくように】

- D.「ゴール」が見通せるような「単元構成」を工夫する。
～リーフレットづくり(単元を貫く言語活動として)という目的を持って教材文を読ませる。
- E.児童実態、学びの育ちと、学習のねらい・教材の価値を踏まえて、
「育てたい力」を焦点化する

仮説 3

授業作りにおいて、他者と関わりながら個に応じて意欲につながる評価活動を行うことにより、自信を持って仲間とともに学びあえる子どもになるであろう。

内容 3

- ①指導と評価の一体化
- ②個に応じた支援と評価の工夫
- ③自己評価と相互評価の工夫

具体的な手立て

【他者との関わりを持ちながら、学習の質を高めるために】

- F.単元計画の中に、お互いの活動に対する感想を交流する相互評価の場面を設ける。
- G.評価の観点・規準を明示し、その観点・規準に照らした評価活動を連続的に行う。
～前時までの自己評価を本時の学習に生かす「自己評価」の活用～

7. 本時について

I 本時の目標

実験の様子や結果・結論を読み取り、読み取った内容をもとに要約文をつることができる。(読む・書き)

II 本時の展開 (☆児童の活動 ★教師の活動 「発問」 ・予想される児童の反応 ※留意点 ◎評価)

	児童の学習活動	教師の関わり・評価										
つかむ (5)	<p>個</p> <p>中心課題文 もんしろちょうは何を手がかりにして、花を見つけるのでしょうか。</p> <p>「これまでの実験1, 2を確かめましょう」</p> <p>・においのしない造花にも集まった／においは手がかりではない。</p>	<p>★前時までの自己評価を確かめ、今日の学び方のめあてを意識させる。</p> <p>手立てA</p> <p>★既習事項の確認をする。</p>										
	<p>全体</p> <p>実験3をまとめて、要約文をつくらう</p>	<p>手立てB</p> <p>★要約していく手立てを確かめる—本文→表に整理→要約</p>										
調べる (15)	<p>要約文をつくるために実験の内容を表に整理してまとめましょう」</p> <p>☆目的をもって教科書を読み、観点に沿って表にまとめる。</p> <p>個で解決できなくてもよい。 安心感を持たせるためのペア</p> <p>個(ワークシート)→ペア</p> <p>個→全体</p> <p>「表に整理してまとめよう」</p> <table border="1"> <tr> <td>◎実験のねらい</td> <td>花の形ではなく、色を手がかりかを確かめる実験</td> </tr> <tr> <td>○実験に使ったもの</td> <td>赤・黄・むらさき・青の四角い色紙 200匹ほどのもんしろちょう</td> </tr> <tr> <td>○実験の結果</td> <td>集まってくる。みつをすおうとする。 ※多く集まった順にむらさき、黄色、青は少なく、赤にはほとんど来ない。</td> </tr> <tr> <td>☆結論</td> <td>色を手がかりにして、花を見つけている</td> </tr> </table>	◎実験のねらい	花の形ではなく、色を手がかりかを確かめる実験	○実験に使ったもの	赤・黄・むらさき・青の四角い色紙 200匹ほどのもんしろちょう	○実験の結果	集まってくる。みつをすおうとする。 ※多く集まった順にむらさき、黄色、青は少なく、赤にはほとんど来ない。	☆結論	色を手がかりにして、花を見つけている	<p>★「実験のねらい」は前時のふりかえりから確かめ合う。</p> <p>★「実験に使ったもの」、「実験の結果」は本文より探す。</p> <p>★「結論」は、全体で確かめ合いながらまとめていく。</p> <p>ただ、本文を「読む」のではなく、目的をもって読み取っていく学習活動となるようにしたい。</p> <p>★児童の言葉を使いながら、表にまとめる。</p> <p>表に整理してまとめる活動は、要約文をつくるための活動と押さえ、まとめる際には、「文章」「単語」など、表記形式には特にこだわらないようにしたい。</p> <p>★結果(集まった)と結論(手がかりは色)を確かめる。</p> <p>内容を要約するために大事な事柄として、結果と結論を区別して整理する。 結果～実験をしてみて、実際に何が起きたか(事実) 結論～その事実から、どのようなことが考えられるか</p> <p>手立てA</p>		
	◎実験のねらい	花の形ではなく、色を手がかりかを確かめる実験										
○実験に使ったもの	赤・黄・むらさき・青の四角い色紙 200匹ほどのもんしろちょう											
○実験の結果	集まってくる。みつをすおうとする。 ※多く集まった順にむらさき、黄色、青は少なく、赤にはほとんど来ない。											
☆結論	色を手がかりにして、花を見つけている											
深める (20)	<p>本文やまとめた表の中にある言葉や文を使って要約文をつくりましょう」</p> <p>☆教科書や表をもとに、観点を取り入れて、要約文をつくる。</p> <p>ペア(ホワイトボード)</p> <p>「要約文をつくらう」</p> <p>形か色かを調べるために、色紙を使った実験をした。 結果は、ちょうは色紙でも集まってきた。 このことから、色を手がかりにしていることが分かった。</p>	<p>★ペアになって、相談しながら要約文をつくらせる。</p> <p>要約文づくりをペアで行うことで、「活動の見通しが不明確なために参加できない子」や「自信が持てずに、受け身・待ちの姿勢でいる子」へ、学習参加を促す手立てとしたい。</p> <p>手立てC</p> <p>★要約文の構成観点を示し、要約文を作らせる。</p> <p>要約文構成する観点として、 ①実験のねらい ②実験の準備 ③実験の結果 ④結論 の4観点(整理した表と同義)を示しておく。この観点を要約文に取り入れてつくることを促したい。</p>										
	<p>「要約文を発表しましょう。」</p> <p>ペア→全体</p> <p>「いろいろな要約文を参考に自分の『要約文』をワークシートに書きましょう」</p> <p>個(ワークシート)</p>	<p>★発表された要約文の良さを観点の落ちがないかを確かめながら、教師が子どもの表現を大切にまとめていく。</p> <p>★ペアでつくった要約文を参考に、個人で要約文をつくり、まとめとする。</p>										
振り返る (5)	<p>「今日の学習を振り返ってふりかえりカードに記入しましょう」</p> <p>☆まとめ方や学び方を観点に沿って自己評価する。</p> <p>個(ふりかえりカード)</p>	<p>手立てG</p> <p>★自己評価の観点を示し、記述させる。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">自己評価の観点</th> </tr> <tr> <td>必要な内容を表に整理できたか</td> <td>△ ○ ◎</td> </tr> <tr> <td>要約文をつくることができたか</td> <td>△ ○ ◎</td> </tr> <tr> <td>友達と協力して学習できたか</td> <td>△ ○ ◎</td> </tr> <tr> <td>すすんで発表することができたか</td> <td>△ ○ ◎</td> </tr> </table>	自己評価の観点		必要な内容を表に整理できたか	△ ○ ◎	要約文をつくることができたか	△ ○ ◎	友達と協力して学習できたか	△ ○ ◎	すすんで発表することができたか	△ ○ ◎
自己評価の観点												
必要な内容を表に整理できたか	△ ○ ◎											
要約文をつくることができたか	△ ○ ◎											
友達と協力して学習できたか	△ ○ ◎											
すすんで発表することができたか	△ ○ ◎											

III 本時の評価

実験の様子や結果・結論を読み取り、読み取った内容をもとに要約文をつくることができたか(読む・書き)

8. 座席表

黒板

<p>F. S. Q 国語の学習は好きですか A 好きではない (漢字が苦手)</p> <p>Q 自分の考えを発表することは得意ですか A 得意 (楽しい)</p>	<p>K. S. Q 国語の学習は好きですか A 好きではない (漢字が苦手)</p> <p>Q 自分の考えを発表することは得意ですか A 得意 (楽しい)</p>	<p>Y. K. Q 国語の学習は好きですか A 好きではない (漢字が苦手)</p> <p>Q 自分の考えを発表することは得意ですか A 得意ではない (間違っていそうだから)</p>
<p>O. R. 交流学級児童 国語学習は個別カリキュラムにて学習のため、本時は不参加</p>	<p>T. S. Q 国語の学習は好きですか A 好き (漢字の練習ができる)</p> <p>Q 自分の考えを発表することは得意ですか A 得意ではない (恥ずかしいから)</p>	<p>T. U. Q 国語の学習は好きですか A 好きではない</p> <p>Q 自分の考えを発表することは得意ですか A 得意</p>
<p>S. N. Q 国語の学習は好きですか A 好きではない (漢字が苦手)</p> <p>Q 自分の考えを発表することは得意ですか A 得意ではない (考えに自信が持てないから)</p>	<p>S. Y. Q 国語の学習は好きですか A 好き (あまり得意ではないけれど好き)</p> <p>Q 自分の考えを発表することは得意ですか A あまり得意ではない (思いつかないから)</p>	<p>F. S. Q 国語の学習は好きですか A 好き (本を読むことが好き)</p> <p>Q 自分の考えを発表することは得意ですか A あまり得意ではない (聞くことが好き)</p>

9. 板書計画

<p>要約文をヒントに自分の要約文をつくらう</p>	<p>ペア要約文 (ホワイトボード)</p> <p>ペア要約文 (ホワイトボード)</p>	<p>ペア要約文 (ホワイトボード)</p> <p>ペア要約文 (ホワイトボード)</p>	<p>文や表から、要約文をつくらう</p>	<p>☆結論</p> <p>色を手がかりにして、花を見つけている</p>	<p>「このことから…」</p>	<p>○実験の結果</p> <p>多く集まった順にむらさき、黄色、青は少なく、赤にはほとんど来ない。</p>	<p>○実験に使ったもの</p> <p>赤・黄・むらさき・青の四角い色紙 と四ほどのもんしろちよう</p>	<p>◎実験のねらい</p> <p>花の形ではなく、色を手がかりなのかを確かめる実験</p>	<p>要約文をつくるために、表にまとめよう</p>	<p>実験3をまとめて、要約文をつくらう</p>	<p>もんしろちようは何を手がかりに花を見つけているのでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">これまでの実験から、色・形におい</p>
----------------------------	---	---	-----------------------	--------------------------------------	------------------	--	---	--	---------------------------	--------------------------	---

10. ワークシート

	<p>結論</p>	<p>「このことから」</p>	<p>実験の結果</p>	<p>実験に使ったもの</p>	<p>実験のねらい</p>	<p>要約文をつくるために、表にまとめよう</p>	<p>課題</p>	<p>もんしろちようは何を手がかりに花を見つけているのでしょうか。</p>
--	-----------	-----------------	--------------	-----------------	---------------	---------------------------	-----------	---------------------------------------